



第4回 ラグビーワールドカップ2019™ 推進教育セミナー 仙台会場



主催: NPO法人TOSS 公益社団法人ラグビーワールドカップ2019™組織委員会
後援: スポーツ庁 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 宮城県ラグビーフットボール協会

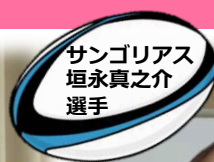
教育の現場から“ラグビーワールドカップ2019™日本大会”を盛り上げよう！

平成30年6月3日（日）宮城県仙台市「ハーネル仙台蔵王会議室」にて、ラグビーワールドカップ2019™推進教育セミナー仙台会場が開催されました。来賓、県ラグビーフットボール協会からの参加者5名、教職員・一般の参加者が60名、計65名の方に参加いただきました。

本セミナーは、2019年のラグビーワールドカップ開催地に釜石市が選定されたことを受け、子どもがラグビーやラグビーに関する道徳授業などを通して、ラグビーについて興味関心を抱き、ラグビーワールドカップを盛り上げることを目的とする教師向けのセミナーです。第1回、第2回を岩手県釜石市、第3回を岩手県北上市で開催し、今年度は、宮城県仙台市での開催となりました。



復興副大臣
土井とおる氏



サンゴリアス
垣永真之介
選手



組織委員会
西阪昇氏



◆衆議院議員 土井とおる 復興副大臣◆

RWC開催に向けて教育現場でご尽力いただいています、TOSSのみなさま方、岩手、宮城、全国でがんばって頂いているみなさま方に改めて敬意を評します。復興と言いますと、復興五輪と言う形で2020年のオリパラが本番かも知れませんが、復興上はやはり釜石でのRWC、その続きという2年間連続した形での取り組みを世界に発信して行きたい、復興庁としてどのようなお手伝いができるか、話し合いを進めています。そのRWCを教育の面から盛り上げている、皆様に感謝をいたします。（以下省略）

◆現サントリーサンゴリアス 垣永真之介選手◆

ラグビーには、認め合う、変化を受け入れる、自己犠牲といった価値があります。仲間の為に体を動かす、それがラグビーの美しさだと思います。そして、どんな人にも役割があるのがラグビーです。私は80分の試合の中で、ボールに触れる時間は20秒程です。それ以外の時間は、チームの為に目立たない仕事をしています。そんなスポーツはラグビーだけだと思います。ラグビーで自分を認めてくれる仲間がいたからこそ、自分が変わったのだと思います。ラグビーにはみんなに可能性があり、人に認められ、喜ばれるスポーツです。

◆ラグビーワールドカップ2019組織委員会 事務総長代理 西阪 昇氏◆

サッカーとラグビーはスポーツの世界では位置づけが違います。この2つだけが、オリンピックではなく、ワールドカップで世界一が決まります。イギリスのパブリックスクールで生まれたラグビーは、近代スポーツの精神を引き継いでいるスポーツです。ノーサイド、ONE FOR ALL, ALL FOR ONE。フェアプレーをつくるための紳士の精神です。敵味方無く相手をリスペクトする近代スポーツの精神を大事に守っているスポーツです。2019年RWCは、もう一度スポーツの意味を、私達が考える機会になります。

セミナーの内容

日時 平成30年6月3日（日）

時間 13:00～15:15

第1講座 タグラグビー授業実践報告
(公立小学校・中学校)

RWC2019™推進教育

テキストを使った模擬授業

第2講座 RWC2019™特別模擬授業

第3講座 特別講演「学校の先生に

期待すること RWC2019への期待」

垣永真之介選手（現サントリーサンゴリアス）

第4講座 基調講演「『ラグビーワールドカップ2019』
の成功に向けて」

西阪昇氏（公益財団法人RWC2019組織委員会
事務総長代理）



ご来賓の方々

◆県ラグビーフットボール協会副会長 県議会議員 守屋守武様◆

東北、被災地でRWCを開催しよう、盛り上げようと、教育的観点の中から、大変感謝をしております。私は地元でラグビースクールを開催しています。畠山健介が教え子であり、前回のワールドカップでも宮城では多いに盛り上がりました。スポーツは多くの人に感動を与える力を持っています。（中略）協会の方からも感謝を申し上げ、本日のセミナーが良いものになることお祈りしております。

県議会議員

◆三浦一敏様

◆高橋伸二様



第4回 ラグビーワールドカップ2019TM推進教育セミナー 仙台会場

主催：NPO法人TOSS 公益社団法人ラグビーワールドカップ2019TM組織委員会

後援：スポーツ庁 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 宮城県ラグビーフットボール協会



参加者の感想

◆冒頭の土井様のあいさつからラグビーワールドカップの価値、地域とのつながりを知ることができました。

垣永選手のお話にあった、認め合う、変化を受け入れるということは、まさに学校現場で子どもたちに伝えていきたいようです。垣永さんのお話から、ラグビーの魅力を改めて知ることができました。スクラムの迫力には圧倒されました。

西阪先生の講演では、近代スポーツについてのお話し、新たな学びになりました。ラグビーの起源、「真摯のスポーツ」ラグビー精神について、子どもたちにぜひ伝えたい内容です。今日学んだことをどのように教室で実際に行っていくかについて、模擬授業、実践報告から学ぶことができました。本当にありがとうございました。

◆改めてラグビーやタグラグビーのもつ教育効果を学ぶことができました。成功体験を積み重ね、ほめられる場面がいくつもあると、自分のためではなく、他の人のためにがんばれること、それらがラグビーのプレー中だけでなく、普段の生活スタイルや、普段の考え方にも広がっていくことが分かりました。まずは、テキストを入手した上で、生徒に実践していきます。

垣永選手のお話は、実際に前回のラグビーワールドカップのメンバーとして合宿に参加されていた経験を踏まえてお話くださり、大変興味深かったです。スクラムを組むという体験は初めてでした。体験してみても、大変さが少し感じられました。

西阪先生のお話からは、ラグビーがアマチュアスポーツの精神を大切にしていることを学びました。また、選手の自主性が重用されているスポーツであることを改めて学びました。日頃から選手と監督とがコミュニケーションを取りながら練習を重ねていることが大事だと思いました。

◆垣永選手のお話、とても興味深かったです。どんな人にも役割があるというお話が印象に残りました。学校では太っていていじられていたラグビーでは認めてもらった。子どもの持っているいいところを発揮させることができるというのが、ラグビーの凄いところなんだと分かりました。

本日初めてスクラムを組みました。すごい圧力でした。比喻として“スクラムを組む”とよく言いますが、みんなが心を併せて力いっぱい押すというのは本当に難しいことであり、力を合わせれば凄い力が出せるのだと分かりました。

福島県でもラグビーキャンプ地になっていること、お恥ずかしながら初めて知りました。ラグビーワールドカップを盛り上げていきたいです。ありがとうございました。

お祝いのメッセージをいただきました！



◆参議員議員 和田政宗様◆今年で4回目を迎えます「ラグビーワールドカップ2019TM推進教育セミナーin宮城」が開催されますことを心よりお祝い申し上げます。今回のセミナーが2019年の日本大会へ向けて大きな起点となることをお祈り致します。今回の開催にあたり、ご尽力いただいた関係各位の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、セミナーに参加される皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。



◆衆議員議員 伊藤信太郎様◆日頃よりラグビーの活動推進にご努力頂き、心より敬意を表します。2019年にラグビーワールドカップがこの東北で開催されますことは、スポーツの振興のみならず、東日本大震災からの復興の一助となりますことを確信しております。本会が皆様にとりまして、実りある会になりますことをご期待申し上げ、今後ともラグビーを通じ、未来を担う若者の健全育成と、ラグビーワールドカップの成功に御尽力頂けるようお願い申し上げます。



◆衆議員議員 西村明宏様◆日頃より子供達に道徳授業などを通じ、ラグビーに興味関心を抱いてもらい、2019年の釜石市で行われますラグビーワールドカップの開催に向けて御尽力されておられます関係者の皆様へ、深く感謝と敬意を申し上げます。本日のセミナーが皆様にとりまして、有意義な時間となりますことを祈念いたしますとともに、御参会の皆様のご健勝、御多幸を心よりお祈り申し上げます。



◆衆議員議員 安住淳様◆このたび仙台市を会場に「第4回ラグビーワールドカップ2019TM推進教育セミナーin宮城」が開催されますことを心より喜び申し上げます。本日のセミナーを通して、広くラグビーの魅力を周知いただき、来年、釜石市で開催されるラグビーワールドカップを燃えイ上げていただき、また2019ワールドカップでは、東北の復興の姿と魅力を世界中の人々にしっかりと発信できる契機となりますようご期待申し上げます。

参議院議員 桜井充様
県議会議員 細川雄一様 さいとう正美様 佐々木賢司様 中山耕一様
畠山かずよし様 渡辺勝幸様 かんま進様 高橋宗也様 村上ひさと様

